

【必読!!】

回
覧

長後地区防災拠点本部

各指定避難所にて令和7年度避難所運営委員会を開催!!

長後地区には、自治会の区域ごとに6か所の指定避難所があります（裏面参考）。

毎年8月頃に、自治会長、自主防災会長などの方にも参加いただき、避難所運営委員会を開催し、マニュアルの確認や避難所開設訓練、施設確認などを議題としています。

より多くの方に情報共有を図るため、一部抜粋して今年度の内容をお知らせいたします。

藤沢市避難所運営マニュアルについて

（今回一緒に回覧している冊子です）

藤沢市避難者運営マニュアルは、
市ホームページでも確認できます



1. 避難所が必要な背景

阪神淡路大震災（1995）では行政職員も被災し出勤は約2割。

救助の多くは隣近所によるものだった。→「自助・共助・公助」の重要性が確認された。

東日本大震災、熊本地震、新型コロナの経験を踏まえ、現行マニュアルが整備された。

→ マニュアル裏表紙「はじめに」参照

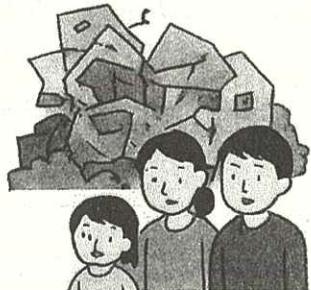
2. 避難所開設の条件と地域の取組み

「震度5弱以上」の地震などで市が避難所を開設。

地域では毎年・・・

夏休み：避難所運営委員会（話し合い）、11月：総合防災訓練（実地訓練）

→ マニュアルP.2「マニュアルの位置付け・構成」参照



3. 避難所とは

自宅倒壊などで「在宅避難ができない人」のために開設。

快適な生活を保証する施設ではなく、必要最低限かつ公平な支援が原則。

要配慮者（高齢者・障がい者・乳幼児・妊産婦など）や男女双方の視点を取り入れる。

→ マニュアルP.3「指定避難所について」参照

4. 運営主体と役割分担

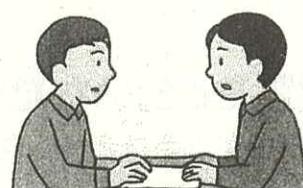
自治会・町内会、自主防災組織：避難所が情報収集・発信など地域コミュニティの中心的役割となるよう協力。避難所生活の支援は避難者が積極的に担う。

避難者：受け身ではなく、積極的に運営に参加。

市職員：立ち上げを主体的に行い、その後は事務局機能を担う。

施設管理者：開設時の安全確認、運営への協力。

→ マニュアルP.5-6「避難所運営委員会」参照



5. 感染症対策

受付で体調確認、一般スペース・要配慮者スペース・専用スペースを分ける。

→ マニュアルP.4「避難所における感染症対策の目的・方針」参照

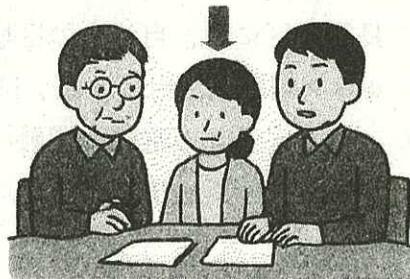
6. 避難生活での配慮

要配慮者: それぞれ配慮すべき事項が異なることを理解する(例:精神障がい≠身体障がい)。

ペット: 屋内不可、屋外に専用スペースを設置。

女性の視点: 性別で役割を固定せず、意思決定にも参画(例:女は料理・洗濯、男がリーダー)。

→ マニュアル P.9- 10, P.11, P.12 参照



7. 発災時の行動フロー

- ①身の安全を確保(シェイクアウト訓練でも実践)。
- ②隣近所の安否確認(倒壊・火災の影響確認も含む)。
- ③一時避難場所集合／組長が安否確認／SNSで情報収集。
- ④自宅で生活できない人を避難所へ案内。
- ⑤市職員・施設管理者が安全確認 → 開設準備 → 運営開始。

→ マニュアル P.8 「避難所開設・運営・閉鎖までの流れ」、P.23 「初動期の対応」 参照

8. トイレ対策

建物が無事なら「既存の便器+トイレ処理袋」を優先使用。

頻度は個人差もあるので各家庭でもトイレ処理袋の備蓄を推奨。

→ マニュアル P.59- 60 「避難所のトイレ利用」 参照



【まとめ】

避難所は「最低限の生活をみんなで協力して守る場所」。

自助・共助・公助の意識を持ち、日頃からの訓練・備えを続けましょう。



回覧をご覧いただいた皆さまへ

避難所運営委員会は、自治会の会長や自主防災会長に出席を依頼しておりますが、会合などで、マニュアルの説明やDVD上映などをご希望がありましたら、お気軽にご相談ください。

長後地区防災拠点本部 長後市民センター 地域づくり担当

住所: 長後 513 受付時間: 平日 8:30~12:00・13:00~17:00

電話: 0466-44-1622 FAX: 0466-46-7034 メール: fj-chougo-c@city.fujisawa.lg.jp

メール

